

# 1 新型コロナウイルス感染症対策

## (1) 経済活動等の支援 ③ ポストコロナを見据えた経済活動

### 国への提案事項

ポストコロナにおいて、日本経済を力強く成長させるためには、デジタル技術を活用した新たな成長分野の創出や、成長分野への労働移動を促進する新たな雇用政策が求められる。さらに、地域の価値の見直しやリモートワークの進展がもたらす大都市圏から地方への新たな人の流れは、止めてはならない重要な動きである。ポストコロナの構造変化を踏まえた抜本的改革による生産性の向上等は、非常に重要な課題であることから、国においても検討を進めていただきたい。

#### 1 新たな成長分野の創出

- 産業分野をはじめ、あらゆる分野でDXを推進し、企業等の生産性や付加価値を高め、新たな成長分野を創出すること。
- その原動力となる「アニマル・スピリッツを持ち果敢に挑戦する人材」や「新たな付加価値の創出につながるデジタルに長けた人材」を育成すること。
- また、こうした人材が、創業をはじめ、地方で活躍できる環境整備（資金調達支援、拠点支援、税制優遇、規制緩和等）を行うこと。

#### 2 成長分野への労働移動

- デジタル化により成長が促され、新たな雇用の受け皿となる分野への円滑な労働移動が実現する仕組みを検討すること。（雇用制度・慣行、評価方法の見直しなど）
- GDPの約6割を占める地方経済圏に多い中小企業の生産性向上に向けて、都市部大企業やグローバル企業の人材の兼業・副業を含む活用を促進すること。

【提案先省庁：経済産業省，厚生労働省】

# 1 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 経済活動等の支援

③ ポストコロナを見据えた経済活動

## 広島県の取組

- 県内外のプレーヤーの共創によるイノベーションの創出を目指す「ひろしまサンドボックス」などを通じた新しいアイデアやデジタルの知見・技術を持った人材の集積
- 新たな創業を創出するため、窓口相談、創業サポーターの派遣、創業セミナーの開催等の総合的な支援
- 大学院等専門課程において、知識・技術を習得する個人や、国内外の大学、研修機関等に社員を派遣する中小企業等に対する支援
- 民間教育訓練機関等を活用したIT分野の職業訓練の実施
- 中小企業等の成長戦略を具現化するプロフェッショナル人材の確保を支援

## 課題

- コロナ危機で、社会経済環境の変化は加速しており、経済を維持するためには、新たな付加価値の創出や、失業なき労働移動など新たな雇用政策が求められる。
- 新たな成長分野の創出には、地方の変革に対し、強いコミットメントを持ち、創業やイノベーション創出に挑戦する人材への後押しが必要。また、今後、デジタル活用は必須であり、デジタルを使うことに長けた人材の育成が急務。
- 既成概念にとらわれないスタートアップ人材を創出・集積(獲得)する環境整備を目指し、成長段階に応じた支援が必要。
- AIやロボットテクノロジー等の技術革新により、従来の雇用が失われる可能性が指摘されており、新たな雇用の受け皿となる成長分野への労働移動は喫緊の課題。
- 日本企業は、海外企業と比べ、同じ業態でも利益率も労働分配率も低い。価格競争に陥ってはいは、良質な商品・サービスは提供できず、良質な雇用も確保できない。